

令和4年度（2022年度）道立学校及び市町村立小中学校の教育職員に係る時間外在校等時間（超過時間）の状況について（概要版）

対象等

- 期 間：令和4年(2022年)4月～令和5年(2023年)3月
- 対 象 校：道立学校(高等学校192校、特別支援学校67校)
市町村立学校(178市町村、小学校754校、中学校454校、義務教育学校19校)
- 対象職員：教育職員（校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手、寄宿舎指導員等）

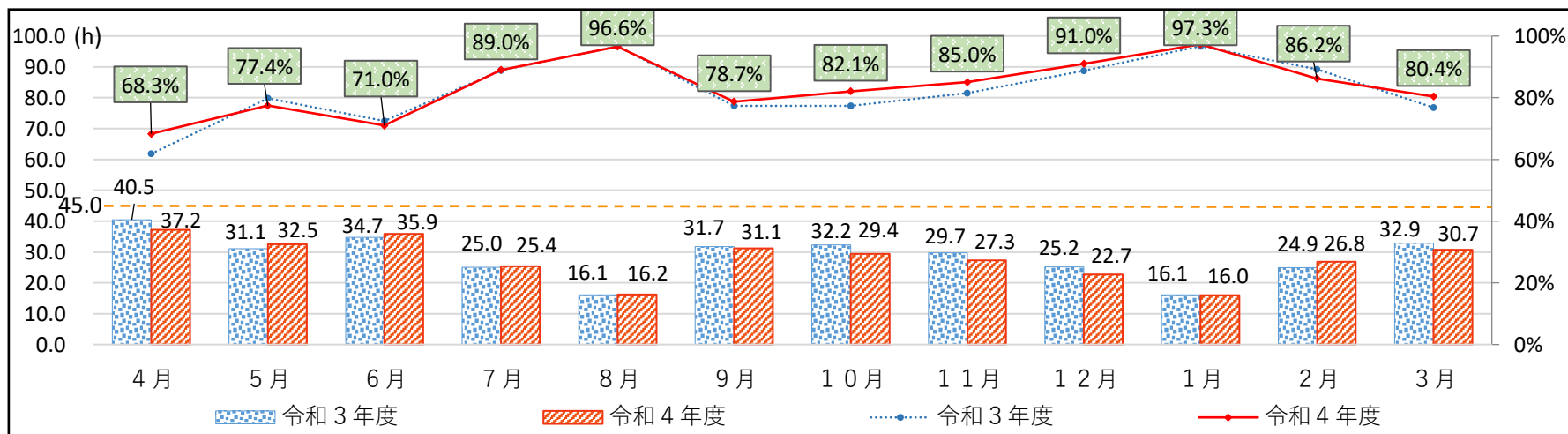
時間外在校等時間の状況（概要）

- 「平均時間外在校等時間」については、中学校、高等学校では4、6月に45時間を超過。小学校、特別支援学校では年間を通じて45時間以内
- 「月45時間以内割合」については、いずれの学校種においても4～6月にかけて、月45時間以内の職員の割合が低くなっており、最小となっているのは、小学校は4月に68.3%、中学校は4月に53.0%、高等学校は6月に51.6%、特別支援学校は4月に82.6%
- 「令和3年度と令和4年度の比較における月別の時間外在校等時間の推移」については、中学校では5、9、2月に、高等学校では6、9月に時間外在校等時間の一人当たりの平均値が大きく増加
- 「学校種別・職種別の時間外在校等時間比較」については、全ての学校種において、副校長・教頭及び主幹教諭が他の職種に比べ、平均時間外在校等時間が多い傾向
- 「年間の時間外在校等時間の状況」については、時間外在校等時間の全教育職員平均が、小学校では8.3時間減少（参考値）、中学校では16時間増加（参考値）、高等学校では8.1時間増加、特別支援学校では6.4時間減少

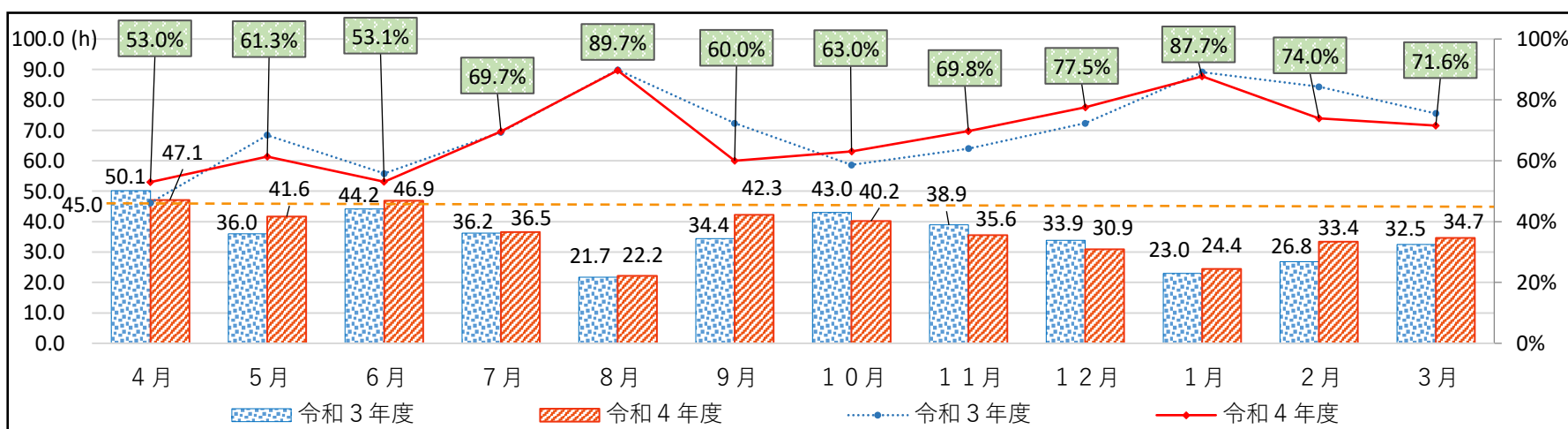
1 月別の時間外在校等時間の推移

R3_平均時間外在校等時間
 R4_平均時間外在校等時間
 R4_月45時間以内割合

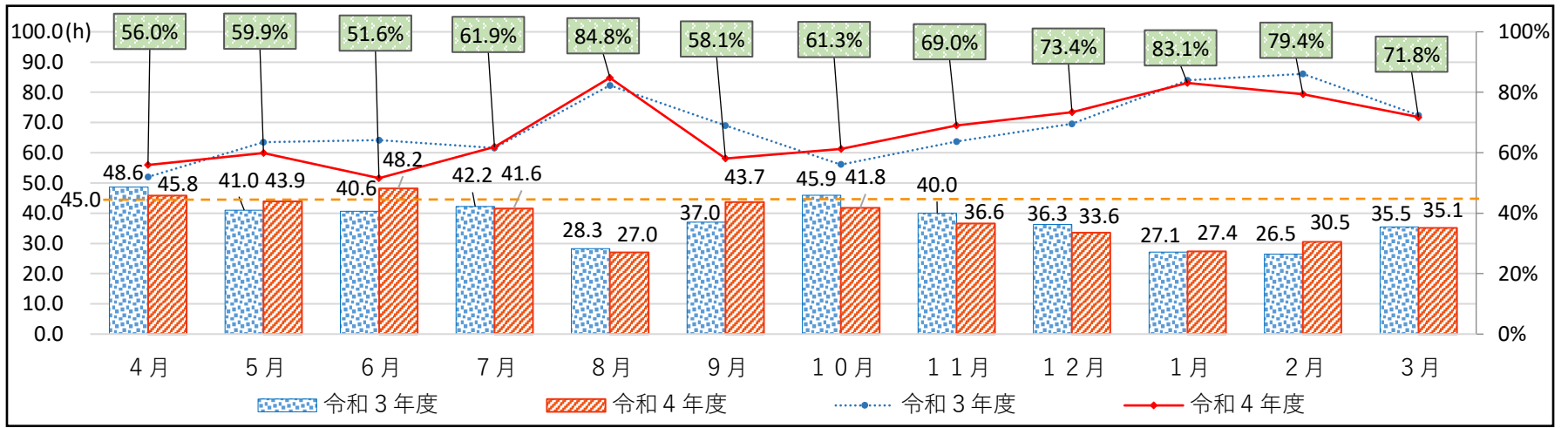
(1) 小学校（義務教育学校の前期課程を含む）



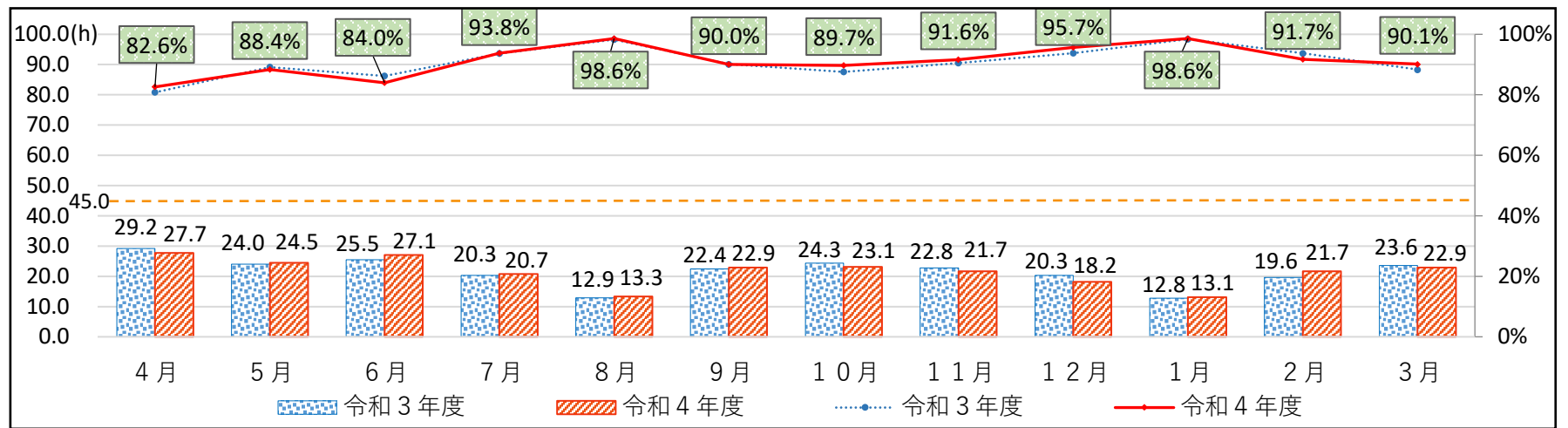
(2) 中学校（義務教育学校の後期課程を含む）



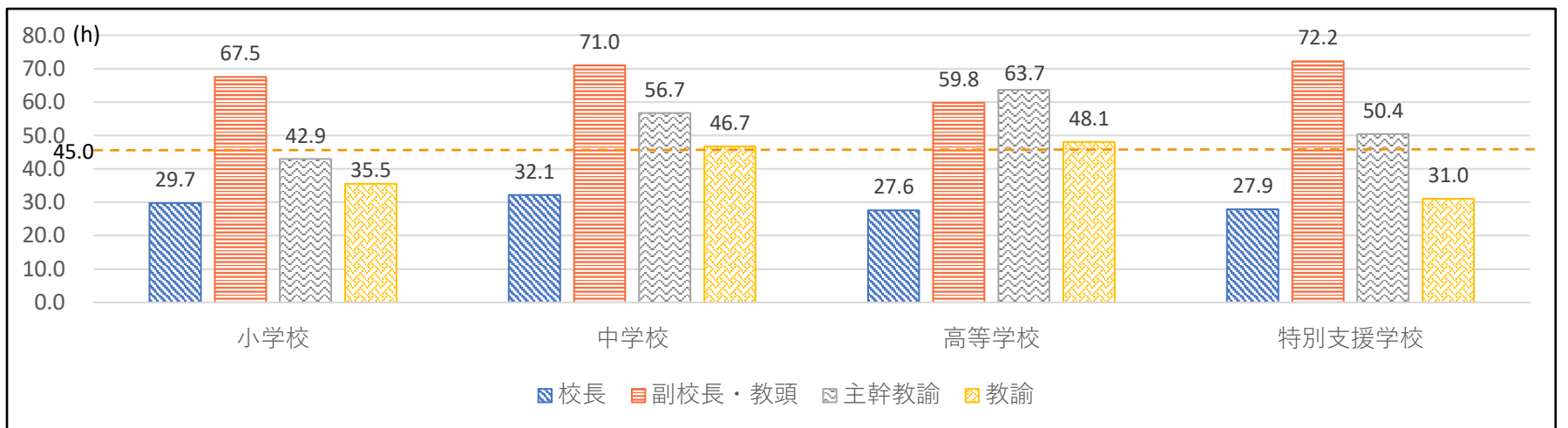
(3) 高等学校（中等教育学校を含む）



(4) 特別支援学校



2 学校種別・職種別の時間外在校等時間比較 ※4月分抜粋



3 年間の時間外在校等時間の状況

	対象年度	教育職員数	全教育職員平均	増減
小学校（参考値）	令和3年度	11,476人※	339.5時間※※	- 8.3時間
	令和4年度	13,791人※	331.2時間※※	
中学校（参考値）	令和3年度	7,051人※	420.0時間※※	+ 16時間
	令和4年度	8,192人※	436.0時間※※	
高等学校	令和3年度	7,328人	451.6時間	+ 8.1時間
	令和4年度	7,187人	459.7時間	
特別支援学校	令和3年度	4,351人	259.3時間	- 6.4時間
	令和4年度	4,291人	252.9時間	

※各月の回答人数を平均したもの。

※※回答があった教育委員会で算出した、各月の平均時間外在校等時間と回答人数の積を合算し、教育職員数で除したもの。